

平成28年度 《第7回》

重粒子線医工連携セミナー

平成28年11月11日(金)

17:00~18:00

場所：群馬大学重粒子線医学センター カンファレンス室

近赤外光による生体イメージング

川口 拓之 先生

国立開発研究法人 産業技術総合研究所

人間情報研究部門 脳機能計測研究グループ 研究員

波長がおよそ700~1000 nmの近赤外帯域の光は生体を構成する物質による吸収が少ないという特徴を有しており、実験動物を対象とした顕微鏡観察やヒトの拡散光計測など幅広い生体イメージングに応用されている。

本講演では、近赤外光による生体イメージングの例として、機能的近赤外分光法(fNIRS)によるヒト脳の血行動態計測、二光子励起レーザー走査型顕微鏡法(TPLSM)による実験動物の脳微小血管構造や赤血球速度の計測を中心に、演者のこれまでの研究成果を交えつつ解説する。

=共催=



がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
放射線治療人材養成8大学連携プログラム

博士課程教育リーディングプログラム

群馬大学 重粒子線医工学グローバルリーダー養成プログラム

=お問い合わせ先=

群馬大学重粒子線医学研究センター 猪爪 (E-mail:inoino@gunma-u.ac.jp)

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3-39-22 TEL: 027-220-8378